



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域協働プラットフォームの構築とコミュニティビジネスの 共創

藤倉 潤一郎 (ふじくら じゅんいちろう)

藤倉潤一郎事務所 所長



○ 登録者情報

所在地

埼玉県川越市

略歴

1968年生まれ。私立武蔵高等学校卒業。

1990年：早稲田大学在学中に新規事業開発・マーケティングを主な事業とする学生企業／ネクステージシステム株式会社を設立、代表取締役に就任。(～2004年)

1997年：インターネット関連企業の共同事業体／全国デジタルオープンネットワーク事業協同組合(通商産業省認可・当時)を发起・設立し、代表理事に就任。同団体にて構築したインターネット事業者向けのプラットフォームサービスが評価され、日本テレワーク協会／テレワーク推進賞・大賞を受賞。

同年、財団法人日本SOHO協会(郵政省認可・当時)の設立に伴い、全国組織の開発・調査研究事業管掌理事を兼務。(～2004年)

2003年：千代田区の不活性な公共施設を複合的なまちづくり課題の一体的な解決を目指す拠点施設へとコンバージョンする目的で、国内第二号となる非営利型株式会社／プラットフォームサービス株式会社を发起・設立し、代表取締役に就任。(～2008年) 同社の構築した中小ビル連携によるSOHOまちづくり事業が評価され、日本テレワーク協会／テレワーク推進賞を受賞。

2007年：埼玉県鶴ヶ島市の協働政策幹に就任。(～2009年)

2008年：第三セクター方式の非営利型まちづくり会社／地域協働推進機構の設立に伴い、代表取締役に就任。(～2019年) 同社にて構築した地域協働ポータルサイトが情報通信月間／関東総合通信局長表彰を受ける。

2012年：法政大学大学院政策創造研究科「非営利組織特論」兼任講師に就任。(～2014年)

2014年：同「コミュニティビジネス論」兼任講師に就任。(現職)

2020年：フリーランスとして転身、個人事務所を開設

・株式会社シンカ／SDGs未来都市プロジェクト・マネジャーに就任。(現職)

・岩手県岩手郡岩手町の政策アドバイザーに就任。(現職)

著書・論文等

・インターネットビジネス関連書籍(1996年)、同 編著(1996年)

・コミュニティビジネス関連テキスト(2016年、2021年)

・参加型プラットフォーム、地域協働、社会的企業に関する研究論文等多数

○ 地域協働プラットフォームの構築とコミュニティビジネスの共創

取組の内容

ハード(拠点施設)とソフト(制度と情報システム)を効果的に組み合わせて、地域協働のプラットフォームを構築します。

その上で、地域課題の解決に向けたコミュニティビジネスを育成・開発(起業・創業支援)し、地域内外のさまざまな立場の方々とともに学び合い、関わり合う環境を整えていきます。

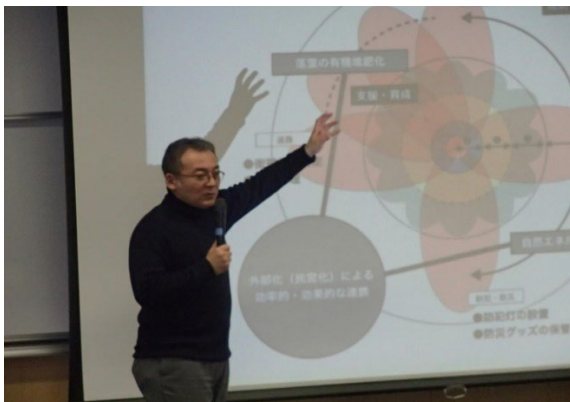
[具体例]

①不活性な公共施設を活用して、産業振興・まちづくりの課題を一体的に解決する地域拠点を開設・運営(東京都千代田区)

②「新しい公共空間」の創造に向けて、地域が共感・共鳴・協働するまちづくりの情報基盤を構築・運営(埼玉県鶴ヶ島市)

③「公共の未来」を切り拓く社会的企業を生み出し、共に育て上げていく新しいタイプのビジネススクールを展開(全国)

④地域内外の様々な立場の方々と共に楽しみながら、地域を変えていく新しい学びと実践のカタチとしてリビングラボを開設・運営(岩手県岩手郡岩手町)



セミナーの様子



岩手町リビングラボの様子

実績

[具体例に関する実績]

- ①毎年1億円の赤字だった公共施設をまちづくりの複合拠点に変え、約36.9億～60.9億円の経済効果を創出。(5ヶ年)
- ②「寄附による投票条例」「市民協働推進条例」と、その運用の仕組みづくりを通じて240件以上の市民活動を創出。(5ヶ年)
- ③7億円の基金を運用し、180社以上の社会的企業とその経営の中核を担う1,200名以上の人材を輩出。(3ヶ年)
- ④300名を越える地域内外の参加・登録メンバーにより20件以上の地域活性化プロジェクトを共創。(実施中)

工夫した点や苦勞した点

一人ひとりに性格があるように、その集まりである地域にも、風土や文化、慣習など歴史に育まれた性格があります。その性格を大切にしつつも、そこに変化を生み出したいとき、いつも一番に苦勞するのは、新しい経験に対する免疫反応への対処です。歳を重ねて忍耐強くなりましたが、それでも、その地域やそこに暮らす人たちが好きになれないと、高く買えない苦勞だと思っています。

ひとことPR

岩手町の政策アドバイザーとして、SDGs未来都市共創プロジェクトを中心とした政策形成全般をお手伝いしています。特に、その一環として実施しているリビングラボではプロジェクトマネージャーを務め、岩手町フューチャーセンターを構想するなど、起業・創業支援の専門知識・経験を生かして、首都圏と地方を接続する人材ネットワークを形成しながら、地方創生の担い手づくりに取り組んでいます。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域プランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

連絡先

メールアドレス	jun-ichiro [アットマーク] fujikura.org		
---------	----------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。